

## 事業報告書（平成28年4月1日から平成29年3月31日）附属明細書

### 公益財団法人リソー教育岩佐財団

#### 概況

当期において公益認定等委員会からのご指導の下、奨学育英事業の復活を実現することが可能となり、併せて当財団のホームページ上での情報開示の在り方、奨学育英事業の広報の有り方、奨学育英事業の事業範囲の拡大（届出書にて承認を受けております。）を大幅に改善することが可能となった。

しかしながら、今後も当財団の運営体制についてはパートタイム職員の採用の検討等、検討すべき課題があり、次事業年度以降も理事会にて協議をすることとなる。

#### 公益事業の状況

当期においては公益認定等委員会からのご指導による情報開示状況の改善等の後、公益事業1の事業範囲を、東日本大震災の被災地域出身者に限らず、広く一般の自然災害の被災地域出身者にまで拡大し、もって奨学育英事業の対象者の拡大を図り、熊本日日新聞、朝日新聞等の新聞での広告並びに当財団ホームページ上での呼びかけをした結果、平成29年3月に奨学育英事業の助成対象者3名が決定し、3月付で一人当たり月額5万円（3月支給総額15万円）の支給を実現することが出来た。本奨学生は、平成29年2月末日までの1年間、特段の事情が無い限り当財団の奨学生として同額の奨学金の支給を受けることになる。次年度はこれら奨学生への対応と併せて新規募集をより積極的に行う所存である。